

第15回 白山・能美・野々市 フレッシュジュニア手取川大会 大会要綱

白山・能美・野々市 学童野球連盟

【大会運営細則】

- ① フレッシュジュニア手取川は、大会は4年生以下で行われる大会である。
- ② 本大会は、特別に5・6年生の女子の大会選手登録を認める。但し、投手、捕手はできない。
- ③ 試合回数は5回とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングには入らない。5回に達しない場合でも、均等回終了をもって試合は成立するものとする。
- ④ 塁間及び本投間は次の通りとする。 塁間 21m 本投間 14m。
- ⑤ 低学年はバークを取らず注意とする。バークによって攻撃側が不利な判定（アウト）を受けた場合には不利な判定を取り除く。走者はそのまま塁に留め置く。又、バークと盗塁が同時に起こった場合は盗塁を優先し次塁へ進ませる。守備側監督に説明、注意し試合を続行する。
- ⑥ 本大会においては、振り逃げは適用しない。
- ⑦ 投手の投球回数は1日60球、5回とする。
- ⑧ 選手の熱中症対策として、大人2名のベンチ入りを認める。（私服で可。但し、チーム帽子を着用。）
- ⑨ 「試合の継続が不可能な得点経過になった場合」については、予選リーグ、決勝トーナメントの欄に別途規定する。

【予選リーグについて】

- ① グループリーグ予選は、各グループリーグの責任チームと協議し、指定の期間中にリーグ予選を行う。
- ③ 各グループリーグ予選の1位のチームが、決勝トーナメントに進む（4グループの場合）。但し、出場チーム数により3つのグループ割となる場合（9チーム以上、12チーム未満が出場の場合）は、各グループの2位チームの中で最も勝ち点を獲得した1チームが決勝トーナメントに進出する。
- ④ 審判については、各チームより審判を要請し、各会場にて両チームで協議して決定する。
- ⑤ グループリーグ予選の試合会場は、原則、各グループリーグの責任チーム地で行う。
- ⑥ グループリーグ予選では、勝敗を以下のように取り決める。
 - ・勝者は勝ち点3、引き分けは双方勝ち点1とし、勝ち点が多いチームが決勝進出とする。
 - ・勝ち点が同点の場合は、直接対決で勝ったチームを優先とし、それでも引き分けの場合は、
 - ①総失点数の少ない方を優位とする。
 - ②総失点数が同じ場合は、総得点数の多い方を優位とする。
 - ③それでも同じ場合は、抽選とする。

- ⑦ 1イニングで打者が一巡した場合は攻撃を終了し、攻守交替をして次のイニングに移る。
- ⑧ 単独チームでは、1～2年生選手が多いチームもあり、試合時間内であっても、「試合の継続が不可能な得点経過になった場合（一方的な試合展開になった場合）」については、双方の監督同士で協議し、試合を終了することができる。
後攻チームが得点で勝っている場合でも、得失点に関わるため、本来は均等回を終了する必要があるため後攻イニング（裏の攻撃）を行わねばならないが、後攻チームの了承がある場合は、後攻を行わない。
先攻チームが勝っている場合は、後攻チームからの申出があれば、後攻を行わずに終了できる。
- ⑨ 各グループ責任チームは、予選試合結果を、期日までに主管事務局に報告する。

【決勝トーナメントについて】

- ① 各グループリーグ予選から勝ち上がった4チームで決勝トーナメントを行う。
- ② 決勝トーナメントにおいても、全試合、時間優先とする。
- ③ 決勝トーナメントにおいて、規定時間内の5回終了時、または均等回終了時に同点の場合は、特別ルールを1回行い、勝敗を決める。
特別ルールで勝敗が決らない場合は、○印及び×印の抽選方式を行う。
（特別ルールは大会要綱に記載されているとおりに行う）
- ④ 決勝トーナメントにおいては、打者一順による攻守交代を適用しない（3アウト制を適用する）。
- ⑤ 得点差によるコールドゲームは、3回終了時点で10点差、または、4回終了時点で7点差とする。
これは、決勝戦でも同様に適用する。
但し、決勝戦に限らず、試合時間内であっても、「試合の継続が不可能な得点経過になった場合（一方的な試合展開になった場合）」については、大会本部にて双方監督と協議し、試合を終了することがある。
また、先攻チームが勝っている場合は、後攻チームからの申出があれば、後攻を行わずに終了できる。

【特別ルール（タイブレーク）】※ 決勝トーナメントに適用

- 両チームとも無死とし、打順は前回の継続打順とする。この場合において、走者は当該打順直前の2人を、2塁及び1塁に着かせるが、代走・代打を送ってもよい。
この時、投手・野手を交代させても何ら差し支えない。但し、一度出場した選手は出られない。
（石川県軟式野球連盟学童部規則による）
- 2025年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「学童部に関する事項」並びに開催年ごとに主管する各支部・学童野球連盟のフレッシュジュニア大会要綱に準じて行う。